



マッチ売りの話

近代童話劇シリーズ vol.2

+ passacaglia

「マッチ売りの少女」を原案に描くオリジナルの物語舞踊と、宗教音楽「パッサカリア」から動きを紡ぐ抽象舞踊の2作品を上演。

「物語」と「抽象」、同じ深層から派生した異なる表現の2作品は互いに共鳴し合い、観る者の心にひとつの火を灯す。

演出振付：金森穰（Noism 芸術監督）

衣裳：中嶋佑一

振付&出演：Noism1

第1部 近代童話劇シリーズ vol.2『マッチ売りの話』

原案：アンデルセン「マッチ売りの少女」+ 別役実「マッチ売りの少女」

音楽：David Lang《The Little Match Girl Passion》より、梅林茂


第2部 『passacaglia』

音楽：Heinrich Biber《Passacaglia in G minor for violin solo》、福島諭

【新潟公演】 2017.1.20（金）～29（日）、2.17（金）～26（日） りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館〈スタジオB〉

【埼玉公演】 2017.2.9（木）～12（日） 彩の国さいたま芸術劇場〈小ホール〉

主催：公益財団法人新潟市芸術文化振興財団 製作：りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館

共催：公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団 ※埼玉公演  平成28年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業

作品について

2004年より、新潟を拠点に活動を続ける Noism。設立から10年以上経過した今なお、日本で唯一の劇場専属舞踊団として、芸術監督・金森穰率いるカンパニー活動と、舞踊家達の圧倒的な身体によって生み出される作品は国内外で高い評価を得ています。

昨シーズンはメインカンパニー・Noism1、研修生カンパニー・Noism2 の合同公演として、劇的舞踊『ラ・バヤデール—幻の国』を上演。劇作家の平田オリザをはじめとする各分野の第一線で活躍する同時代のクリエイター達を迎え、古典バレエの名作「ラ・バヤデール」を基に創作。歴史や宗教、民族など現代社会の抱える問題に向き合う作品へと昇華させたとして、大きな反響を得ました。

Noism1、13年目のシーズンの次なる新作は、『マッチ売りの話』と『passacaglia (パッサカリア)』の2作品を上演します。

第1部『マッチ売りの話』は、アンデルセンの童話「マッチ売りの少女」と、日本を代表する劇作家・別役実の不条理劇「マッチ売りの少女」の2作品から着想を得て、金森穰がオリジナルの台本を執筆。舞踊家たちの身体のみで描く「物語舞踊」として創作します。また、本作は2015年より立ち上げた「近代童話劇シリーズ」の第2弾。「近代」という激動の時代が生んだ出来事を「童話」というメタファーを通し、今を生きる一人一人への問いとして投げかける物語です。

第2部『passacaglia』は、オーストリアの作曲家であるハインリヒ・ビーバーが17世紀に作曲した宗教音楽「パッサカリア」と、新潟在住の現代音楽家・福島諭によるオリジナル楽曲から動きを紡ぐ「抽象舞踊」です。「身体」とは何か、言語化することのできない様々な事象を孕んだこの問いに、皮膚レベルまで感覚を研ぎ澄ました舞踊家達の身体で迫ります。

一方は、ある一軒家での出来事が映し出す社会の縮図を描いた不条理な「物語舞踊」であり、もう一方は、言語化できぬ問いに身体を用いて挑む「抽象舞踊」。全く異なる表現方法で上演されるこの2つは、同じ深層から派生した両極であり、複雑を極めるこの現代社会において、あえて“わかりやすさ”に迎合することなく、複雑なまま向き合おうとする Noism の新たな挑戦です。

息づかいも伝わるほどの密な空間で展開されるこの2作品が、観る者の心にどのような火を灯すのか。13th シーズン最初の Noism1 新作にご期待ください。



劇的舞踊『ラ・バヤデール—幻の国』より (2016年)

©Kishin Shinoyama



近代童話劇シリーズ vol.1『箱入り娘』(2015年)

©Kishin Shinoyama

Director's Note

金森 穰

13th シーズン冬の新作は、昨年夏に始まった近代童話劇シリーズ第 2 弾となる『マッチ売りの話』（第 1 弾は『箱入り娘』）と抽象舞踊『passacaglia』の 2 作品を創作する。本公演は、無関係の 2 作品を一晩に上演するダブルビルのものではなく、2 つの作品が互いに共鳴し合い、終演後観客の裡に深く重層的な 1 つの心象を生み出すことを目指すものである。

『マッチ売りの話』は誰もが知っているアンデルセンの童話「マッチ売りの少女」と、日本の不条理劇第一人者である別役実氏による「マッチ売りの少女」からオリジナル台本を書き下ろして創作する。2 つの異なる時代の「マッチ売りの少女」を重ね合わせることで、自己と他者、親と子、そして過去と未来までもが交錯し、善悪の所在すらも流転するような物語を創作する。

アンデルセンの「マッチ売りの少女」において私が興味を惹かれるのは、凍える貧しい少女が、自らの身体（精神）を温めるためにマッチを擦った時に現れる幻影、それが真鍮のストーブや豪華な食器類、あるいは贅沢な料理といった人間の欲望（自然の征服／物欲／食欲など）に満ちていることであり、その延長上に信仰（亡き祖母の霊に導かれて天国へ行く）が語られることである。

一方、別役氏の「マッチ売りの少女」はその不条理な展開の中に、まさにそれら人間の欲望が責任問題を通して語られ、現代人にとっては欲望こそが信仰であり、その責任を誰が取るのかという問いを私たちに投げかける。それは 21 世紀現在、資本主義諸国における社会的格差是正、いわゆる平等に対する激しい欲望（信仰）、あるいは第三世界における歴史的格差是正のための、テロのような破壊行為に対する信仰（欲望）、その責任問題へとつながっている。

信仰とは何か。我々はその答えを提示するために創作をするのではなく、その問いを発するためにこそ創作をする。それはハイリッヒ・ビーバーがその崇高な宗教音楽（ロザリオのソナタ）の最後に、聖母マリアの生涯とは別の、独立した 1 曲として passacaglia を作曲したことへの想い（私の妄想だが）、気高い理想への信仰を抱きつつも、欲望にまみれたこの俗世をその身一つで生きてゆかなければならない現実に対する、痛切な決意のようなものである。

私たちは歩いて行かなければならない。信じ、打ちのめされ、立ち上がって過去を背負い、一步一步大地を踏みしめるように歩いて行かねばならない。たとえその足跡が降り積もる雪に消し去られようと。たとえこの人生が、雪のように泡沫なものであったとしても。この無常なる時の中を。



Photo:Kishin Shinoyama

金森穰 Jo KANAMORI

演出振付家、舞踊家。りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 舞踊部門芸術監督／Noism 芸術監督。17 歳で単身渡欧、モーリス・ベジャール等に師事。ルードラ在学中から創作を始め、NDT2 在籍中に 20 歳で演出振付家デビュー。10 年間欧州の舞踊団で舞踊家、演出振付家として活躍したのち帰国。2004 年 4 月、りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館舞踊部門芸術監督に就任し、日本初の劇場専属舞踊団 Noism を立ち上げる。近年ではサイトウ・キネン・フェスティバル松本での小澤征爾指揮によるオペラの演出振付を行う等、幅広く活動している。14 年 6 月より新潟市文化創造アドバイザーに就任。平成 19 年度芸術選奨文部科学大臣賞、平成 20 年度新潟日報文化賞ほか受賞歴多数。

www.jokanamori.com

Profile

中嶋 佑一 Yuichi Nakashima | 衣裳

1981 年生まれ。16 歳から服を作りはじめ、2004 年より、劇団維新派、ヨーロッパ企画、BABY-Q、子供鉦人、contact Gonzo、Noism、unit-Cyan、小澤征爾指揮によるオペラなどの舞台作品に衣裳で参加。2011 年より現代美術の分野での活動をはじめ。Noism では『Nameless Hands～人形の家』、『Nameless Poison～黒衣の僧』、劇的舞踊『ホフマン物語』、『Psychic 3.11』、Noism2『火の鳥』等で衣裳を手掛ける。 <http://yuichinakashima.blogspot.jp/>



福島 諭 Satoshi Fukushima | 音楽 (passacaglia)

1977 年新潟生まれ。新潟大学教育学部特別教科 (音楽) 教員養成課程卒業。IAMAS 修了。作曲家。2002 年よりコンピュータ処理と演奏者との対話的な関係によって成立する作曲作品を発表。また、即興演奏とコンピュータによる独自のセッションを試みるバンド、Mimiz のメンバー。濱地潤一氏との交換作曲作品《変容の対象》は 2009 年より開始され現在も作曲中である。賞歴に 2014 年第十八回文化庁メディア芸術祭「アート部門」優秀賞 (大賞なし) など。日本電子音楽協会会員。作曲を三輪眞弘氏に師事。



Noism1

www.noism.jp

Noism⁰¹

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館を拠点に活動する日本で唯一の公立劇場専属舞踊団。演出振付家・舞踊家の金森穰がりゅーとぴあ舞踊部門芸術監督に就任したことにより 2004 年に設立。プロフェッショナルカンパニー Noism1 と研修生カンパニー Noism2 で構成。Noism1 はモスクワ・チエーホフ国際演劇祭との共同制作や、サイトウ・キネン・フェスティバル松本のオペラ&バレエへの出演など、国内や海外各地で多岐に渡って活動している。舞踊家たちの圧倒的な身体と鋭い問題意識に裏打ちされた作品、新潟から世界を見据えたカンパニー活動は、21 世紀の新たな劇場文化モデルとして各方面から注目を集めている。



井関佐和子 (副芸術監督)

Photo : Noriki Matsuzaki



中川賢

石原悠子

池ヶ谷奏

吉崎裕哉

リン・シーピン

浅海侑加

チャン・シャンユー

坂田尚也

公演情報

Noism1 新作

『マッチ売りの話』+『passacaglia』

第1部 近代童話劇シリーズ vol.2『マッチ売りの話』

演出：金森穰

振付：Noism1

原案：アンデルセン「マッチ売りの少女」+ 別役実「マッチ売りの少女」

音楽：David Lang《The Little Match Girl Passion》より、梅林茂

衣裳：中嶋佑一

出演：Noism1

第2部 『passacaglia』

演出振付：金森穰

音楽：Heinrich Biber《Passacaglia in G minor for violin solo》、福島諭

衣裳：中嶋佑一

出演：Noism1

チケット発売日：2016年11月26日（土）新潟・埼玉公演 一般発売

11月23日（水・祝）SAF（彩の国さいたま芸術劇場）メンバーズ先行

11月24日（木）N-PAC mate（りゅーとぴあ友の会）先行

新潟公演



2017年1月20日（金）～29日（日）、2月17日（金）～26日（日） *全12回

日時	1/20	1/21	1/22	1/27	1/28	1/29	2/17	2/18	2/20	2/24	2/25	2/26
	金	土	日	金	土	日	金	土	月	金	土	日
15:00			○			○						○
17:00		○			○			○			○	
19:00	○			○			○		○	○		

会場：りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館<スタジオ B>

入場料：一般 4,000円、U25 3,200円（入場整理番号付自由席）

取扱：▶りゅーとぴあ（窓口・電話・オンライン）

チケット専用ダイヤル 025-224-5521（11:00-19:00、休館日除く）

オンライン・チケット <http://www.ticket.ne.jp/ryutopiaticket/>

▶イープラス <http://eplus.jp/>（PC・MB）

埼玉公演



日時：2017年2月9日（木）～12日（日）

*全5回

会場：彩の国さいたま芸術劇場〈小ホール〉

入場料：一般 5,500 円、U25 3,500 円（全席指定）

*U25 は彩の国さいたま芸術劇場のみ取扱

取扱：▶彩の国さいたま芸術劇場チケットセンター（窓口・電話・オンライン）

0570-064-939（10:00-19:00、休館日除く）

<http://www.ticket.ne.jp/saf/>

▶りゅーとぴあ（窓口・電話・オンライン）

チケット専用ダイヤル 025-224-5521（11:00-19:00、休館日除く）

オンライン・チケット <http://www.ticket.ne.jp/ryutopiaticket/>

▶イープラス <http://eplus.jp/>（PC・MB）

日時	2/9	2/10	2/11	2/12
	木	金	土・祝	日
15:30			○	
19:30	○	○	○	○


※埼玉公演情報ページ（彩の国さいたま芸術劇場ウェブサイト） <http://www.saf.or.jp/stages/detail/3768>

※U25（25歳以下）は入場時に身分証をご提示ください。 ※未就学児の入場はご遠慮いただいております。

※開演時間を過ぎますと、演出上の都合によりご入場を制限させていただきます。予めご了承ください。

※託児サービス、車イス席等の詳細は公演特設ページ、または Noism ウェブサイトをご覧ください。

主催：公益財団法人新潟市芸術文化振興財団 製作：りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館

共催：公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団※埼玉公演  平成 28 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業

公演特設ページ http://noism.jp/match_passacaglia/



公演最新情報やチケット情報、作品の見どころなどを掲載！

※12月中旬正式オープン予定

Noism オフィシャルウェブサイト www.noism.jp

 Noism  @noismPR

作品に関するお問い合わせ

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 Noism 上杉・堀川

〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町 3-2

Tel : 025-224-7000 Fax : 025-224-5626 Mail : info-noism@ryutopia.or.jp